

牛群検定の利活用などについて解説記事を掲載しています

- 1 考えよう酪農家のための乳牛改良システム＜連載＞
デリー・ジャパン4月号 畜産システム研究所 伊藤晃 氏
我が国における乳牛改良の歩みを分かり易く解説

- 2 新しい検定成績表について（その25）－検定成績表を見る順番②（応用編）－
LIAJニュース（家畜改良事業団）N o 1 3 9 平成25年3月号
数字が満載された検定成績表、どの順番で見れば効率が良いのでしょうか？基本に立ち返り解説しています。冊子の入手については、最寄りの種雄牛センターまたは事業所にお問い合わせいただければ、無料でお送りします。
バックナンバーは、以下の当団ホームページをご参照下さい。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

牛群検定情報

検索

北海道根室管内の人材育成の取組

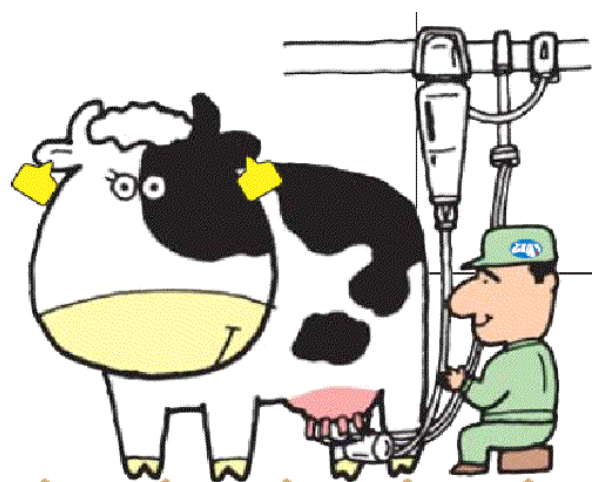
家畜人工授精師は業務を通して、多くの酪農家と接する貴重な人材です。農業者からみると高い知識や技術を有する人より、現場で頻繁に相談できる人の方が心を開きやすく、日常の牛や管理に通じた家畜人工授精師の数少ない的確な一言は農業者を動かし地域を大きく変えます。根室管内では、根室生産連が実施主体となって、平成23年4月からField（現場）、Advice（助言）、Consideration（検討の頭文字をとって、**FAC活動**）をスタートさせました。管内の家畜人工授精師と一緒に、牛群検定成績などの情報提供は、根室生産連の職員、現場での技術支援は農業改良普及員が行っています。第1～第4ステージまで、半年単位に区切り、2年間で1サイクルとしました。



- 第1ステージ: 牛の行動と姿勢から何を読み取るかの座学
第2ステージ: 乾乳期から泌乳初期までの牛体の変化を注視
第3ステージ: 泌乳初期から泌乳中期までの受胎牛と不受胎牛の違いを分析
第4ステージ: 得られた牛群検定成績、ボディコンディションスコアからエサの活用方法を追求
2カ月に1回全体会議により情報の共有化

以上のようなFAC活動の取組の結果、対象酪農家は乳量が増え予定分娩間隔が短縮し、家畜人工授精師からはボディコンディションスコア、体温チェック等の重要性が認識できた、と双方から高い評価を得ています。（以上、抜粋です。詳細な記事は次をご覧ください <http://www.hmrt.or.jp/pdf/nyus/S28.pdf>
根室農業改良普及センター所長田中義春 検定検査乳sNo28 発行北海道酪農検定検査協会 ）

平成25年度 牛群検定の試行（お試し検定）を開始します！



本年度も牛群検定を無料で体験できる牛群検定の試行（通称「お試し検定」）を実施します。牛群検定にかかる諸経費を、最大で6カ月間、家畜改良事業団がサポートするというお得な事業です。お知り合いの検定未加入の酪農家に「今がチャンス！」とお伝えください。4月から利用開始できます！

牛群検定を始めれば、自宅のパソコンやスマホ（アンドロイド）で検定データを活用できる「繁殖台帳Webシステム」も使い放題です。詳しくは、当団ホームページをご覧ください。

<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

牛群検定情報

検索

牛群検定では分娩日を含めて6日目の午後から7日の朝に検定を行うことができます(検定日は7日目)。しかし、最近、乳及び乳製品の成分規格等に関する省令(乳等省令)の規則と混同される方がいらっしやるので再確認しておきたいと思います。

なお、5月9日に実施するAT法においては、前日の搾乳立会はないので、こういった問題は生じません。

	分娩日					検定日	
						夜搾乳	朝搾乳 2回搾乳検定
						昼搾乳/夜搾乳	朝搾乳 3回搾乳検定
月日	5月3日	5月4日	5月5日	5月6日	5月7日	5月8日	5月9日
牛群検定による 分娩後日数	1	2	3	4	5	6	7
乳等省令による 日数	0	1	2	3	4	5	6
乳等省令による 搾乳不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	可

デーリィ・ジャパン社刊の本解説書は、おかげさまで大変にご好評を頂いています。この度、本解説書で
使用した全ての原図のパワーポイントを無料配布することとしました。編集も可能なパワーポイントですので、地
域の研修会等でご利用ください。ただし、原図ですので、解説書掲載のものとは少々デザインが異なります。

なお、解説書のご購入をご検討中の方は、以下の申し込み用紙を利用できます。

<切り取り>

[illegible]